

# 星座早見盤で見たい四季の星座ポイント

～星を辿って宙に星座を描く～



**春** ひしゃくの形に似たしっぽを持つ【おおぐま座】の一部である北斗七星から、ゆるやかなカーブを伸ばすとオレンジ色に輝く【うしかい座】のアルクトゥールスが見つかります。更にそこからゆるやかに結ぶと純白の星【おとめ座】スピカに繋がります。このゆるやかな大きなカーブを春の大曲線と呼びます。アルクトゥールス、スピカと黄色く輝くデネボラを結ぶと春の大三角です。このデネボラは【しし座】のしっぽにある星です。春の大曲線から春の大三角に見える星座を描いてみましょう。



**夏** ミルキーウェイとも呼ばれるミルクをこぼしたような、無数の星の集まりである天の川が、綺麗に見えるのが夏の宙です。この天の川のほとりで輝くのが織姫星【こと座】のベガと、彦星【わし座】のアルタイルです。二人の間に流れる天の川を優雅に渉るのが【はくちょう座】のおしりの星デネブと、ベガ、アルタイルを結ぶと夏の大三角になります。南の宙には真っ赤に輝く【さそり座】のアンタレスも夏の代表的な星です。



**秋** 古代エチオピア女王【カシオペア座】と王様【ケフェウス座】、その娘である【アンドロメダ座】、そのすぐ側には【ペガサス座】。ギリシャ神話の古代エチオピア王家にまつわる星座が多く輝いているのが秋の宙です。秋には大三角がなく、ペガサス座の胴体である四角形が秋の四角形と呼ばれています。南には秋、唯一の一等星である【みなみのうお座】のフォーマルハウトが白く輝いています。



**冬** 全天で21個ある一等星の内、8個は冬の宙で輝いています。【ふたご座】のカストルとポルックスは一等星を持つ星座です。近くに二つ明るい星が寄り添って輝いていれば双子の兄弟かも知れませんか。双子の弟ポルックスから【こいぬ座】のスピカ、【おおいぬ座】のシリウス、【オリオン座】のリゲル、【おうし座】のアルデバラン、【ぎょしゃ座】のカペラと大きく結ぶと、明るい一等星で輝く冬のダイヤモンドと呼ばれる六角形が描けます。またスピカ、シリウスと【オリオン座】のベテルギウスの三点で結ぶと冬の大三角になります。